

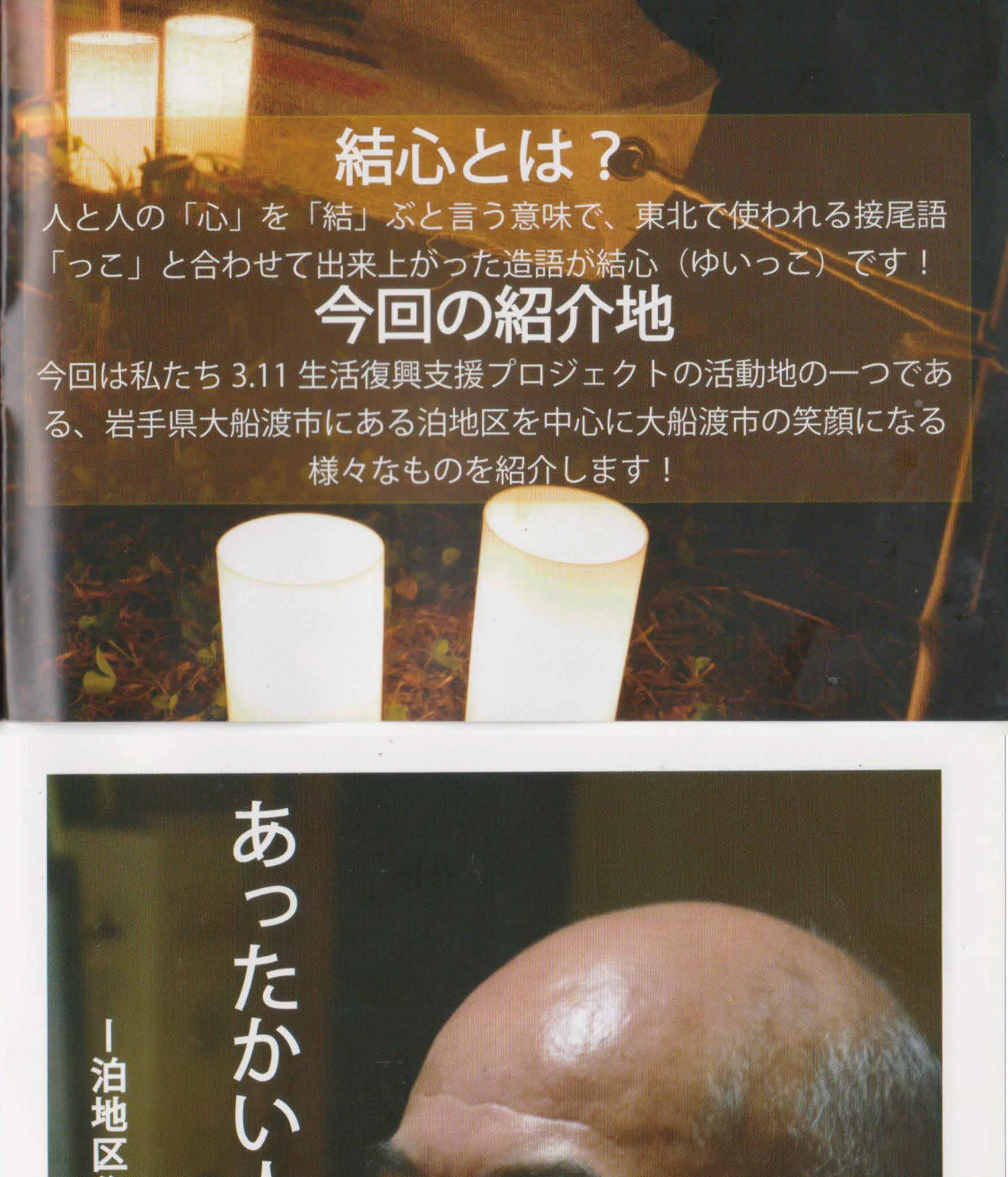
特集～大船渡～
大船渡を五感で紹介味わおう！

3.11 Life Cam Project
生活復興支援
結心 創刊号 発行日:2013年10月25日
発行元: 東海大学チャレンジセンター 3.11生活復興支援プロジェクト

ゆいっこ 一結心 目次

20p	19p	17p	15p	13p	8p	5p	3p	1p	
編集後記	3.11生活復興支援プロジェクト活動紹介	泊地区周辺マップ	フリップアンケート	一番笑顔になる時は？	大船渡特集 大船渡を五感で紹介味わおう	キヤンドルナイトレポート	二年間の歩み	あったかい人	目次

結心とは？
人と人の「心」を「結」ふと言う意味で、東北で使われる接尾語「っこ」と合わせて出来上がった造語が結心(ゆいっこ)です！
今回の紹介地
今回は私たち3.11生活復興支援プロジェクトの活動地の一つである、岩手県大船渡市にある泊地区を中心に大船渡市の笑顔になる様々なものをご紹介します！



あったかい人
泊地区住民 林 明一
年齢：67歳
出身：岩手県大船渡市
職業：漁師
趣味：奥さんと釣りに行く
好きな歌手：北島三郎(川、山、橋)

林さんのお話を伺ったのは、2013年10月25日の夜、大船渡市にある泊地区の居酒屋「おぼろ」で。林さんは、3.11の震災で被災された方々のために、大船渡市から泊地区に移住してきて、今では泊地区の中心地として活躍されています。

林さんの現在の職業は漁師。仕事の反動で「一番笑顔になる時は？」と聞くと、林さんは「仕事で失敗して、奥さんや子供と遊んでいる時だ」と答えてくれました。林さんは、泊地区に移住してきてから、泊地区の中心地として活躍されています。林さんの言葉には、新しい人生を歩むための勇気を感じました。

泊地区の中心地として活躍されている林さん。泊地区に移住してきてから、泊地区の中心地として活躍されています。林さんの言葉には、新しい人生を歩むための勇気を感じました。

特集 大船渡を五感で味わおう

海、陸の両方から楽しむ
油を食べてよう

大船渡の海産物と言えばまつも、ぶりのり、ほたて、あわび、マンボウ...様々なものが採れますが、その中から今回はまつもをピックアップ！
まつも

陸

岩手県では「小枝柿」という柿が昔から栽培されており、この柿の最大の特徴は「種ができない」ことである。この小枝柿を原料に、白い粉がふくまですて手をかけた干し柿を特に「ころ柿」と呼んで親しまれてきた。農家の軒先を彩るころ柿の玉すだれは見事とて美しく、この地域の秋から冬へかけての風物詩として有名だ。
主な商品：羊羹(上)の写真
柿羊羹
干し柿(ころ柿)

海

大船渡は海産物と言えばまつも、ぶりのり、ほたて、あわび、マンボウ...様々なものが採れますが、その中から今回はまつもをピックアップ！
まつも

「まつも」とは松葉とも書き、その名の通り松の葉に瓜二つで、松の新葉を思わせる形をしている海産物である。北海道と三陸を中心に北日本の海岸の岩礁で生育している。見た目は平たく丸いので、口に含むと滑らかなコロコロとした素晴らしい食感を愉しむことができ、豊かな香りととろみのある食感が特徴である。
栄養価の面でも鉄分、タンパク質、カルシウムなどを多く含む栄養食品として古くから不老長生の海産物として珍重されていた。

Photo Spot introduction

Photo Spot No.1
Photo Spot No.2
Photo Spot No.3
Photo Spot No.4

No.1: 山頂から越喜来湾方面
No.2: 山頂の駐車場付近
No.3: 夏虫山から吉浜湾方面
No.4: 夏虫山から北西方面

笑顔

8人分の笑顔

自然を夏虫山で味わおう！

Photo Spot No.1

フリップアンケート

お題 一番笑顔になる時はどんな時？

泊地区周辺マップ

2011年度 活動紹介

活動紹介

3.11生活復興支援プロジェクトって何？
私たちは「持続可能な開発のための復興支援」を活動理念として活動しています。私たちは「被災者の生活基盤の再構築、被災者の生活向上、被災者への支援」を目的として活動しています。被災者の生活基盤の再構築、被災者の生活向上、被災者への支援を目的として活動しています。

2012年度 活動紹介

2013年度 活動紹介

編集後記

結心では皆様からのご感想を募集！
結心を東北への関心を通して深めることができましたか？ご意見ご感想等がありましたら、下記のアドレスまでお送り下さい！
E-mail: yukko.311@gmail.com

